



「ON-LINE ZAZEN IN ENGLISH」開催の様子

国際委員会 第二十四期活動紹介

国際委員長 高柳 龍哉

全国曹洞宗青年会（以下、全曹青）では国際委員会を組織しております。国際委員会の目的は、全曹青のさまざまな活動を世界へ発信すると共に、「ZEN（禅）」の魅力を海外へ広げることです。

曹洞宗国際センターがハワイ、北アメリカ、南アメリカ、ヨーロッパに開設され、現地の日系人への国際布教は徐々に発展してまいりました。北アメリカでの国際布教が一〇〇周年を迎える現在では、現地の方々の布教も活発に進んでおります。アメリカのアップル社の創業者であるスティーブ・ジョブズ氏が興味を持ち禅僧に師事するなど、ビジネスパーソンを皮切りに曹洞禅は「ZEN」として世界的に広がりを見せました。

また、タイのバンコクに本部を置く世界仏教徒青年連盟（以下、WFBY）は本年五〇周年を迎え、アジアを中心とした一六カ国四二団体が加盟する世界最大の仏教徒青年団体となりました。全日本仏教青年会（以下、全日仏青）は、WFBYの唯一の日本センターとしての役割を担っております。



国際交流の様子

全曹青は、全日仏青・WFBYと協働しその国際活動の中心を担い、国内外の大規模コミュニティのメリットを活かし活動しています。今号ではその活動の一部をご紹介します。

● 「ON-LINE ZAZEN IN ENGLISH」

海外の方や日本在住の外国人の方がたに「ZEN」を体験してもらうため、コロナ禍により急速に浸透したオンラインサービスやSNSを活用して、英語でのオンライン坐禅会「ON-LINE ZAZEN IN ENGLISH」を開催しております。参加者が心からリラックスできる自宅から参加することで、和やかな雰囲気のもとになっております。また少人数制であることを活かし、坐禅の後に雑談や質疑応答を行うこともあります。

新型コロナウイルスが終息した後は、対面して禅寺特有の空気感を味わいながら「ZEN」を体験してもらえる日を心待ちにしております。

● 「国際仏教徒青年交換プログラム（IBYE）」

WFBYでは長きにわたり、次の世代を担う青少年を対象に伝統仏教を通じた教育・育成・トレーニングを進めてまいりました。その過程において、次世代のリーダーを育成するだけでなく、青少年の国際交流を



アフターコロナでは、直接指導の英語坐禅会を開催予定

促進しながら、伝統仏教文化のグローバル化を目的とするさまざまなプログラムを展開してまいりました。昨年は日本を開催国として全日仏青が、オンラインでアフターコロナを見据えた「IBYE 2021」を実施しました。全曹青国際委員も、IBYE実行委員として大事業に携わりました。

また、高校生・大学生を対象としたこの行事は、若く柔軟な感性で他国の仏教やグローバルスタンダードと呼ばれる考え方や価値観に触れる貴重な機会となります。今後も宗門子弟さまの多くのご参加をお待ちしております。

この世界を網羅する仏教青年団体のスケールメリットを最大限に活かし、全曹青国際委員会は今後も、今期テーマ『Paradigm Shift』のもと、急速な社会情勢の変化と国際化に対応した布教・教化活動を実施してまいります。



● 執筆者プロフィール
国際委員長 高柳龍哉
たかやなぎ りゆうさい

秋田県曹洞宗青年会所属 第二十三期広報委員
全日本仏教青年会理事 世界仏教徒青年連盟事務局次長